

6

吳復第一四号

吳地方復員殘務處理部

三揚接護前次長宛

日文附書昭和30年2月3日

者發信

三揚接護前次長宛

部長



課長



班長

主任



2月3日起案

查閱

淨書

校合

月

日發付

次頁不開示

具復第一四号

昭和三十年二月三日

具地方復員部長

引揚援護局長 殿

浮島丸遭難死没者遺骨奉迎式における
朝鮮人追悼文について(送付)

一月二十一日附、具復第八号により援護局長へ報告の当部における
遺骨奉迎式に、参列礼拝の際、在日朝鮮人団体の代表が朗読しました
追悼文の写(朝鮮語は、翻訳)を、御参考までに送付します。

記

一、在日朝鮮統一民生戰線広島縣委員会

(日本語)

二、在日朝鮮解放救援護会岡山縣本部代表

(朝鮮語)

三、広島縣朝鮮人中学校生徒自治会

(朝鮮語)

四、民生主戰線東部地区委員会

(日本語)

其の他

因 島 市 長

(代 記)

(終)

写 送 付 先 各 地 方 復 員 部 長

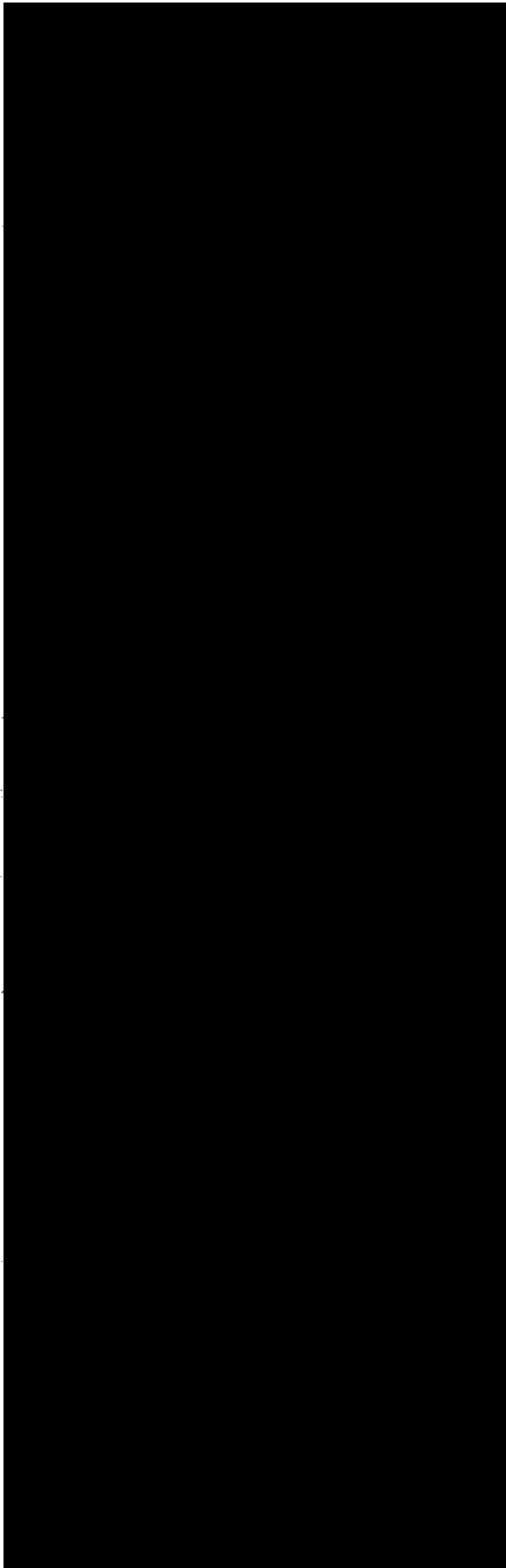
吳復第一四号

昭和三十年二月三日

引揚援護局次長

吳地方復員部長
殿

浮島丸遭難死没者遺骨奉迎式における
朝鮮人追悼文について(送付)



記

一、在日朝鮮統一民生戰線広島縣委員会

(日本語)

二、在日朝鮮解放救護会岡山縣本部代表

(朝鮮語)

三、広島縣朝鮮人中学校生徒自治会

(朝鮮語)

四、民生主戰線東部地区委員会

(日本語)

其の他

因島市長

(代読)

(終)

写送付先 各地方復員部長

追悼文 [原文のまま]

第二次世界大戦が終つてから十年になつたが今なを死場さ之知り此に在る多くの英霊がいる
大戦力は遺家族の切なる悲願を担つて南方に出ていつた 浮島必の五二四柱の犠牲者は日本海
舞鶴港沖の波のそこに未だにさうさう此に在る三千余体の中より引き揚げられた一部分である
英霊の遺家の痛奮は如何ばかりであらうか

日本帝國主義戦争はアジア全域にわたつてアジア人を無数に殺りくした。そして今アジア人は帝
國主義戦争に反対して平和共存を絶に願つてゐる。今われわれが奉迎する英霊は平和共存を願小
人人の力によつて護送された。この平和共存の力こそが人道を守り 國際友愛精神に満ち自由と
独立を勝ち取れる偉大な力を持つてゐる。われわれは出来得る限りも盡して英霊の死に場所を明
らかにしその遺骨を収納しなければならぬ。然しこれだけを以つてあの惨禍を骨身に体験し
して生き残つたわれわれの務めとしては足りないわれわれのとう一つの義務はアジアに於て 否
全世界に於て再び帝國主義者共の戦争を赦してはならない。進んで戦争挑発の陰謀を根絶するこ
とである。父母妻子を念じながら異郷の空で散つていつた兵士よ、軍艦飛行機軍需工場炭坑等
でののしり此。しにたげり此鞭打たれはがり。むじなりしく死んでいつた魂達よ、殊に望郷の念
にかり此はがり「國を帰るまでの辛棒」とすし詰めにされ。爆死されつた餓の怨みを飲んで沁んで

行つた五二四柱の英霊よ、この此の無数の魂をして語りしむれば何んと言ふであらうか
「お父さんお母さん妻よ子供よ日本よ朝鮮人よ、否全世界の今治まてゐる人々よ、命をまるで
埃か芥の様に無駄にする帝國主義戦争は絶対にして下れるは、平和を守れ、戦争に通ずるどんは
小さい事でも恩のがす勿れ、再びこのみじめな犠牲を出不いたために」と叫びにちがいはい
今日われわれはこの魂の叫びを身を持って実行する以外に何があらうか、道は既に開かれてゐる
わが祖國朝鮮の平和的統一独立日本の独立と平和 平和五原則に基くアジアの平和共存 此の目
的のために大同團結して勝利の前進を誓ひ以つて追悼と致します。
英霊よ、冥せり此よ、

一九五五年一月廿一日

在日朝鮮統一民主戦線廣島縣委員会

之浮島必朝鮮人犠牲者

靈前に捧ぐ

追悼文

【日本語に翻譯原文のまま】

過去三十有余年我々朝鮮人は日本帝國主義者たちの苛酷な弾圧と銃劔の圧迫によりなつかしい故郷を後にして見りぬ島國、日本の土に食住を求めさまよわねばなりませんでした。何千と言ふ同胞たちが北海道の炭坑の夕コ部屋に捕えり此言語に絶する辛苦をなめ飢と寒さにかかる之ねばなりませんでした。歡喜の八、一五も迎へ鉄鎖から解き放たれ夢をたゆらさずと向ふ歎びと感激の涙とで目をくもりせ胸をうるわせたこの中の同胞の三千余名 あなたたちは然しその束の間怨みの舞鶴沙頭その魂は永遠の眠りについたのでした。あゝその悲痛その慟哭その血涙いかにばかりでみえたこととせう。十度び春は去り秋は来り異國の海深き処三千余柱のその魂兄弟のふところ故國の土に安らふに葬りぬることを願つてか空は曇り風は荒れ日本海の波は高いこととせした。

この悲運これこそ私達朝鮮人が日本帝國主義者に対する限りなき憎しみと今平和を破壊レこの様な悲劇を再び演出しようとする人に対して胸の底から燃え上る憎悪を新にし平和との憧憬と決意を新にする事矣とすべきこととせしよう。

私達はあなたたち三千余の不幸なさまよえる魂に誓ひます。再び隸屬と屈辱の暗黒な祖國には致しませんと。未だに成りぬ祖國の平和的統一と世界恒久平和樹立を指向し高き誇りと強き決意と確固たる自信をもつて前進せんことをそのことのみがあなたがたの死にムダにせずあなたたちの魂を安めることとでありますしよう。

祖國統一の暁にはあなたたちと共に故國の山河に抱かれることを誓ひ 追悼の念を謹んで捧げるのであります。

一九五五年一月二十一日

廣島縣朝鮮人中學校生徒自治會

追悼文

〔日本語に翻譯原文のまま〕

嗚呼！悲しい哉！言葉とはなく帰る兄弟たりよ！どくはに夢みたりその道であつたであらう！解放されば祖國、なつかしき故郷、愛する父母のいどころに通ずるその道も！今のあなたは萬斛の痛憤も沈黙に秘めて帰る来る仇敵の暴圧と虐待に抵抗しありゆる苦痛と悲しみの中で奇蹟的に生き残り、八、一五の歡喜を味つたあなたは永遠に帰ることのない水中の白骨となつてから十余年、我々同胞の胸中からこの悲劇を引き起した者に対する憎悪と憤りがどうして消え去ることがありませう！花咲き蝶舞ふ春を迎える時桐の葉落ち雁のとび冬を送るとき、あなたは異國の海底深くさまよい私達の思ひはあなたの方のさまよえる魂に走り、新たなる憤りに胸をふるわせるのでした。美しき祖國の山河を瘡墟にし優美な千ヨゴリを血で汚したアメリカ帝國主義者の罪業がヨーロッパで非難を受け、アジア人民の審判を受け、燎原の火の如くほうはいとして起る全世界平和愛好諸人民の巨大な力に押しつぶされようとしている時、まさにこの時私達はあなたの方を迎えるのであります。

十星霜あなた方も安めることの出表はかつたのは只私達の力の不足あるのみ平和戦線の戦列も広げ、拳族一致大同團結して祖國の統一と恒久平和を勝ちとり、あなた方と共に晴れて祖國の土を踏む日を一日も早めん為ありゆる努力をなさんことを嚴肅に祈言ふのであります。無言凱旋の兄弟の上に永遠不滅の栄光あれ！

一九五五年一月二十一日

在日朝鮮解放救援會岡山縣本部

代表



追悼文

〔原文のまま〕

嗚呼 悲しいかな 英霊よ！ 無暴な帝國主義者共が 第二次大戦を巻起し 國民の生活と幸福を破壊し 侵略を敢てした。英霊よ！ 十年近くも 寒冷雜草の海底に 声なく ブジヨク された。しかし 尸史は 奔展し 平和の力は 大きく なり 原水爆を 反対し 再び 戦争の ない ように 全人類の 幸福と 平和の ために 曰 朝西國民は 固結して 二度と 貴方かたの 様な 犠牲が ない 様に 闘う ことを 誓い 々と 共に 我々は 全力を 擧げて 祖國統一の アスピラールに 答へる ことを 更に 誓ひ あなたかたの 瞑福を 祈り 涙で 串い 追悼の 辞に 致します

一九五五年一月二十一日

民戦東部地区委員会

事 辞

謹みて英霊を弔う

昭和三十年一月二十一日

因島市長 安松延二